決算特別委員会

厳密に審査し原案認定

平成15年度 公営企業会計及び一般会計、特別会計

決算特別委員会は、平成一六年第三回定例会において設置され、同時に認定第一号「平成一五年度茨城県公営企業会計決算の認定」及び認定第二号「平成一五度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定」の付託を受けました。

決算特別委員会は、決算審査を翌年度の予算編成に反映させるため、今年度から審査時期を早め、一〇月一三日から一二月一〇日までの間に九回の委員会を集中的に開催しました。

審査は、代表監査委員や出納長、関係部長等の出席を求め、提出された決算書及び関係書類に基づき、各部門ごとに詳細に決算内容について説明を聴取し、また監査委員の決算審査意見を参考として、予算が議会の議決の趣旨に則り、適正かつ効果的に執行され、県民の信託に十分応えるものとなっているか、などの点に留意して行われました。

審査の過程において、論議の対象となりました主な事項は、**公営企業会計**では、水道料金の地域格差の是正、友部病院の抜本的な改革、小児救急体制の拡充整備、任意団体への補助金の見直し、などであります。

一般会計及び特別会計において、**総務部及び知事公室関係**では、男女共同参画条例や計画を策定する市町村への支援、高校における男女混合名簿の推進、ハーモニーフライト事業の派遣先の見直し、直轄事業負担金改革に係る国への要望活動、**企画部関係**では、ノンステップバスの本格的導入、過疎地域における事業費の確保、過疎地域等における情報通信格差の是正、つくばエクスプレス駅へのアクセスの整備、**生活環境部関係**では、消費生活センターの体制強化、救急救命士の養成、市町村庁舎の耐震化と自家発電設備の設置促進、県立自然公園内の開発行為の住民への説明、涸沼流域の生活排水対策、**保健福祉部関係**では、県立医療大学卒業生の県内定着の推進、知的障害者入所更生施設の整備、骨髄移植の普及、エイズのまん延防止対策、精神障害者ピア・ヘルパーの養成、保育所の待機児童の解消、精神障害者施設の整備、**商工労働部関係**では、緊急雇用創出基金事業廃止後の対応、官公需施策、女性起業家への支援、労働相談事業のＰＲ、**農林水産部関係**では、直売所の拡大、地元食材の学校給食への活用、農業集落排水事業の検証、**土木部関係**では、高速道路料金の割引の制度化、安全快適整備事業終了後の対応、県営住宅の建設、**教育庁関係**では、不登校児童生徒に対する学校の支援、障害児教育の充実、**警察本部関係**では、児童虐待事案の通報体制とその施策の効果、歩道車道分離式信号機の設置推進、会計文書の誤廃棄に係る再発防止策、などであります。

また、各部局毎に行われた部門別審査終了後に**総括審査**が行われましたが、そこでは、エコフロンティアに係る地域振興対策事業、県立病院事業の抜本的な改革、など全体的な観点からの質疑が行われました。

審査の結果、決算特別委員会に付託されました認定第一号「平成一五年度茨城県公営企業会計決算の認定」及び認定第二号「平成一五度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定」については、予算の執行及び決算は、いずれもその内容を適正なものと認め、賛成者多数をもって原案を「認定すべきもの」と決定いたしました。

お知らせ

次回の、平成17年第１回定例県議会は、２月21日から３月18日までの26日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
２.21	月	議会運営委員会 本会議（開会、知事提出議案説明）
22	火	議案調査
23	水	議案調査
24	木	議会運営委員会 本会議（代表質問・質疑）
25	金	議会運営委員会 本会議（代表質問・質疑）
26	土	
27	日	
28	月	議会運営委員会 本会議（一般質問・質疑）
３.１	火	議会運営委員会 本会議（一般質問・質疑）
２	水	議会運営委員会 本会議（一般質問・質疑） （議案常任委員会等付託）
３	木	常任委員会
４	金	常任委員会
５	土	
６	日	
７	月	常任委員会
８	火	議事整理
９	水	議会運営委員会 本会議（予算関係議案常任委員長報告　予算関係議案予算特別委員会再付託）
10	木	市町村合併に伴う新生活圏づくり調査特別委員会
11	金	市町村合併に伴う新生活圏づくり調査特別委員会
12	土	
13	日	
14	月	予算特別委員会
15	火	予算特別委員会
16	水	新たな県総合計画調査特別委員会
17	木	議事整理
18	金	議会運営委員会 本会議（委員長報告、採決、閉会）

県議会県民の意見を聴く会開催

地域産業の振興をテーマに開かれた県議会県民の意見を聴く会

「地域産業の振興」テーマに

一一月四日、議会活動の充実強化の一環として、議会大会議室において、「茨城県議会県民の意見を聴く会」が開催されました。

「地域産業の振興」をテーマに、県内各産業界を代表する一五名が、議会からは正副議長、各常任委員会・予算特別委員会・新たな県総合計画調査特別委員会正副委員長一六名が出席しました。主な意見としては、高品質ブランド米の作付け、経営感覚のある後継者の育成、生産者の発想による高性能選果機の開発、道路改良など公共事業の重要性、新製品のセールスアドバイザー制度、地域に根ざす起業等での女性活用、情報関連事業の地元発注、石材等本県産資材等の使用、純本県産清酒等の循環型地場産業の育成、コミュニティーの視点での中心市街地の活性化、文化財・歴史遺産の活用、商工会・商工会議所の体制強化、職業教育における私立学校の重要性の認識、県における民間・ベンチャー企業情報の蓄積及び共有化の推進、産業政策・産業ビジョンの重要性などであります。

議員からは、商店街再生に向けた福祉・医療・教育環境の整備、農業法人による雇用拡大、道路への石材使用の提案などについて質問や討論がなされました。

いただいたご意見は、今後の常任委員会活動の参考としてまいります。

閉会中の常任委員会活動

常任委員会では閉会中にも、様々な活動をしています。その一部についてご紹介します。

◆委員会の開催◆

○総務企画委員会
参考人からの意見聴取
・青少年健全育成県民運動ほか

○環境商工委員会
参考人からの意見聴取
・商工会の現状と課題

○保健福祉委員会
参考人からの意見聴取
・食の安全・安心

○農林水産委員会
参考人からの意見聴取
・消費者や実需者がいばらき農産物に望むものほか

○土木委員会
参考人からの意見聴取
・屋外広告物の規制

○保健福祉・環境商工委員会連合審査会
参考人からの意見聴取
・少子化対策と育児保険

◆県内調査◆

○総務企画委員会
・つくばエクスプレス沿線開発の進捗状況ほか

○環境商工委員会
・大強度陽子加速器施設の概要ほか

○保健福祉委員会
・児童虐待等の相談への対応状況ほか

○農林水産委員会
・磯崎漁港海岸の現状と保全対策ほか

○土木委員会
・鹿島灘海浜公園の整備状況ほか

○文教治安委員会
・鹿嶋警察署の治安対策の状況ほか

議会人事

予算特別委員会委員長が空席であったため、一二月一日の本会議において、同委員会委員長に桜井富夫議員を選任しました。

永年在職者表彰

一二月一日に永年在職者表彰が行われました。表彰を受けた議員は、次のとおりです。

四五年在職　関　宗　長　議員

二五年在職　松　浦　英　一　議員
粕　田　良　一　議員

一五年在職　飯　野　重　男　議員